緑風

NO. 31
令和8年7月15日発行
佐沼高等学校同窓会
在京佐高会

【在京佐高会会長の挨拶】
多くの同窓生の皆様に参加いただけるようお待ちしております！



在京佐高会、会長
森田　次男さん
（23回生）

今年より会長を務めさせていただきます「森田次男」です。どうか、宜しくお願い致します。出身は豊里町です。伝統ある佐沼高ラグビー部で活動、大学、社会人と合わせて15年余りラグビーの選手として現役生活を送りました。現在は定年退職して自由に暮らしていますが、地域の自治会活動への参加や神社氏子会役員等々を歴任しております。同窓生の皆様におかれましては、元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日頃は在京佐高会の維持運営にご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。どうか今後とも宜しくお願いいたします。

現在、日本では中東情勢悪化による影響で、石油関連由来による商品の品不足や値上がりに翻弄されておりますが、世界中が困っているのが本音のようです。石油はありとあらゆる物品の製造に用いられており、また、その物品の輸送には欠かせない原料で至る所に影響が出ております。更に、各国では収穫に向けた農業の資材や肥料に迄影響を及ぼしており大変な状況になっています。我々の生活物資も目に見えて高騰して家計も段々厳しくなってきており、私も多くの方同様、これからどうなるのかと思う日々を過ごしています。

さて、在京佐高会では、「如何にしてより多くの同窓生に会員になって参加していただけるのか？」「参加した会員の皆様により満足できる企画をお届けすること」を命題に役員会で議論を重ねています。会員の高齢化により会員数が減少傾向にありますが、昨年の総会には、70回生の佐藤崇道さんが出席されました。

※左の写真は令和7年総会・懇親会の折の様子です。

会員一同、大歓迎で、感動・感謝でした。若手会員の発掘の為に、これからも情報提供・連絡を皆様にお願いいたします。

今年に入って、4月には恒例の「小さな旅」―皇居東御苑の散策を実施しました。雨模様ながら多数の方が参加してくださいました。また、昨年発行の「緑風30号」では今まで以上に情報発信が出来たと思いますが、現在「緑風31号」の発行に向けて鋭意担当が編集に取り組んでおります。

今年、令和8年度の「総会・懇親会」につきましては、10月18日(日)、東天紅上野店にて開催予定です。知り合いの同窓生の方とお誘い合わせの上、是非とも多くの皆様の参加をお待ちしております。



【乾杯】令和7年「在京佐高会総会・懇親会の開催を祝して乾杯！」―乾杯の挨拶・発声は小峰顧問でした。



【校歌斉唱】佐沼高等学校校歌を全員で斉唱致しました。



【万歳三唱】「在京佐高会益々の発展と皆様の健康を期して万歳三唱を致しました。音頭は菅原顧問でした。

【佐沼高等学校同窓会、会長ご挨拶】
在京佐高会の発展をお祈りします！



佐沼高等学校
同窓会会長
氏家　良典　様

在京佐高会の皆様におかれましては益々ご健勝のことと、お喜び申し上げます。

昨年8月2日(土)地元佐沼にて佐沼高校本部同窓会総会が開催され、高8回生の方を筆頭に高75回生まで134名の方が参加され盛大に開催されました。

さて、待望の新校舎が昨年8月ついに完成しました。デザインといい設備といい、加えて機能も併せもつ、素晴らしい校舎です。長生きしたおかげで二度も新しい校舎を見ることが出来ました。

至るところに最先端の設備が施され、生徒さんによっては、自宅より快適な環境が整っているのではと思う位です。

既にご承知のように、本年11月10日に新校舎落成記念式典を執り行う予定です。それに伴い、記念事業として大友克洋さん(高25回生)の記念作品(陶板レリーフ)を作成していただき、玄関正面に展示する計画をしております。当初、制作・設置費用800万円(税込)を全国の同窓生の方々に募ってまいりました。

昨年末で募金額680万円ほどになっておりました。今年に入って、大友さんからせっかく母校への作品ですので、もう少し大きくしたいという要望があり、面積が1.5倍の3㎡になりました。費用も新たに200万円上乗せして、1000万円に増えることになりましたが、実行委員会で検討した結果、受け入れることとしました。

再度、同窓生の皆様に広く周知・ご協力を呼びかける事と、役員中心に追加の募金お願いしているところです。

その努力もあって、6月9日現在で886万円までなっております。しかし、まだ目標額には到達しておりません。あと一歩のところまできております。甚だ恐縮とは思いますが在京佐校会の皆様にもご協力いただければ幸いです。

結びにあたり、在京佐高会の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

※令和8年10月2日(金)、第9回佐沼高校同窓会ゴルフ愛好会コンペを開催いたします。

在京佐高会でゴルフを愛する方、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

【佐沼高等学校、校長先生ご挨拶】
4月人事異動により新しく着任しました！



佐沼高等学校
校長先生
高木　伸幸　様

在京佐高会の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、遠く離れた地にありながら、折に触れて温かいご支援と励ましをお寄せいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

私こと、本年4月に本校校長として着任いたしました。長い歴史と輝かしい伝統に支えられてきた本校の教育を担う重責に、改めて身の引き締まる思いで職務に当たっております。本校がこれまで多くの優れた人材を社会へ送り出してこられましたのは、同窓生の皆様が築いてこられた信頼とご支援の積み重ねによるものであり、深い敬意と感謝を申し上げる次第です。現在、本校では、基礎・基本の確かな定着に加え、主体的に学び、他者と協働しながら課題を解決する力の育成に力を注いでおります。さらに、急速に変化する社会に対応できる柔軟な思考力や豊かな人間性を育むため、教育内容や指導方法の充実・改善に取り組んでおります。生徒一人ひとりが高い志を持ち、自らの可能性を最大限に発揮して社会に貢献できる人材として成長することを目指して参ります。

こうした教育活動を充実させていくうえで、同窓会の存在はとても心強いものです。在京佐高会の皆様が培ってこられたご経験やご見識は、生徒達が将来を考える際のヒントとなるはずです。できれば、現役生と先輩方が交流できる機会を持って、本校教育をさらに深めたいと考えます。

今後とも、在京佐高会の皆様には、本校の更なる発展のため、温かいご支援と後輩育成へのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



※㊤の写真は、入学式の折の、様子です。

結びに当り、在京佐高会皆様のご健勝とご活躍、ならびに在京佐高会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

【令和8年度佐沼高等学校ご紹介】
新しい校舎で迎えた新学期、新しい校長先生をお迎えして伝統を大切に活気ある高校に！



佐沼高等学校
同窓会事務局長
白旗　崇敬先生

在京佐高会のみなさまには日ごろ同窓会本部の活動に対して温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年9月遂に新校舎が落成し、同19日、生徒会中心に「仮設校舎お別れ会」が行われました。物品移動作業を経て24日には引っ越し、その後「新校舎お披露目会」が行われました。お披露目会の模様をお知らせします。

先ず、第一体育館にて全校集会を行いました。生徒会制作の仮設校舎感謝動画を視聴して、次に設計を担当した関空間設計様から新校舎に込められた想いを生徒たちに語っていただきました。

そしていよいよ新校舎へ。お祝いの紅白幕がかけられた昇降口をくぐり、先ずは教室に入りました。新校舎各ゾーンの説明を受けた後、案内図片手に校舎内を自由に歩いて見て回りました。機能的にもデザイン的にもよく吟味された最新の綺麗な校舎のあちこちで、生徒たちの大きな歓声が上がりました。その後、全校生徒は中庭（SAKOひろば）に集合して「竣工祭」を行い、新校舎の末永い安全を祈願しました

（筆者＝白旗が上沼八幡神社の神職でもあることから依頼を受け、休暇を取得の上で「斎主」として祭儀を斎行しました。）

竣工祭後は工事関係者・スポンサーの方々による餅撒きならぬ「お菓子撒き」イベントが行われて大いに盛り上がり、御礼と吹奏楽部の伴奏にて全校生徒による「校歌斉唱」が行われました。

最後に全校記念撮影を行い、㈱佐利様より頂いた紅白餅が全員に配られ、お開きとなりました。



エントランス広場を通り初めて昇降口へ入る様子です。



1階の奥、多目的広場&購買部（左手）



教室前廊下と学習スペース（左側）



※中庭（SAKO 広場）での全校記念撮影写真。



東上空から望む、「校舎の全景」―手前の円形の建物は芸術棟で1階は美術室、2階は音楽室屋上はイベントスペース（だんだん広場）です。

このように、思い出に残る、新校舎でのスタートになりました。

この日からすでに9か月が過ぎようとしていますが、おかげさまで快適な学校生活を過ごしています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

尚、新校舎落成記念事業であります高25回生大友克洋先輩による制作「陶板レリーフ」設置につきましては、諸先輩方より格別なるご芳志を賜り、誠にありがとうございます。実は、大友先輩の創作意欲がいや増して、作品規模が当初の予定「2平米」から「3平米」となり、募金期間を十月末日まで延長しての大事業となりました。作品は11月10日に予定している「新校舎落成記念式典」でのご披露となりますことを申し添えます。

どうか、ご期待ください。

【佐沼高校クラブ活動紹介】

【吹奏楽部】

宮城県大会を突破！
44年ぶり東北大会に出場！



吹奏楽部顧問
石郷岡　信成先生

佐沼高校吹奏楽部は県内でも有数の歴史ある吹奏楽部です。

「定期演奏会」の開催回数は、令和8年度で61回を数え、県内でも屈指の量を誇ります。部員たちは、歴史ある吹奏楽部の一員であることの重みを十分に自覚しながら毎日真摯に練習に励んでいます。

私が赴任してから、生徒たちに「もっと練習しなさい」と言ったことは殆どありません。生徒達は、時には指導者が歯止めをかけるほどの厳しい練習を自分たちに課し、「音楽家」としての成長に余念がありません。

その結果として、令和7年度の吹奏楽コンクールでは44年ぶりに宮城県大会を突破して東北大会に出場させていただきました。東北大会出場に向けた演奏曲は、「バレエ音楽「中国の不思議な役人」より／B.バルトーク」

また、今年度には秋田県で開催される「全国総文祭」への出場も決まっています。大変光栄な機会に恵まれていますが、日々生徒たちの頑張りを間近で見ている私だからこそ、これらが「必然」であると言い切れます。生徒たちは驕ることなく、地味な練習を積み重ねています。音楽の世界に「奇跡の演奏」は存在しません。「奇跡」に期待することもありません。

これからも地道に頑張っていきますので、変わらぬ応援のほどよろしくお願いいたします。





㊤、2枚の写真は「定期演奏会の光景」です



※佐高の最新情報をホームページにて是非ご覧ください。

（同窓会事務局長・白旗崇敬先生）

【剣道部】

百二十四年の伝統ある剣道部、令和でも大会で活躍しています。



剣道部顧問
白旗　崇敬先生

剣道部は佐高創立の年に創部された歴史を誇ります。

過去にはインターハイ（平成2・女子団体他）や全国選抜大会（平成5・女子団体）、東北大会の出場経験もあり、合格率一％前後の超難関として知られる剣道界最高峰の「八段」を輩出している、県内でも数少ない剣道部です。近年の競技人口減少の影響で、チームがぎりぎり組める程度の部員数が続いていますが、力を合わせて稽古に励んでいます。東北大会出場2回（令和3、4・女子団体。但し令和3はコロナで中止）、県新人個人第3位、1回（令和元・女子）、同ベスト8、4回（令和4、7・女子、令和5、6・男子）などの成績を残しており、昨年の県総体では男子団体16年ぶりのベスト8を達成しました。「人間形成」を第一とし、今後もさらに精進してまいります。OB・OGの先輩方、毎年8月13日の午後、第一体育館にて「OB・OG稽古会」を開催しております。帰省の折はぜひお越しください。

【在京佐高会役員会-活動報告】
会員の満足度向上を目指して鋭意努力を！



事務局長
亀川　善悦さん
（29回生）

会員の皆様、日頃「在京佐高会」の活動にご協力を賜りありがとうございます。

昨年の「緑風30号」で私たち役員会の一年の活動を掲載した結果、「役員の皆様ご苦労様！」「感謝です！」との多くのお言葉を頂きました。これを糧に更に皆様にご満足いただけるような企画を考えていきたいと思っています。

今年の新しい役員会の取り組みとして

①**「会長・副会長・事務局長」の執行部組織の創設。**―執行部において事前検討案作成、これにより役員会討議時間短縮と効率化が図られました。

②**会員向け「グループライン」の活用。**―メンバーの声掛け等で、現在40名以上のライン参加者があり、積極的な意見・情報交換が行われております。「小さな旅」もこのラインで皆様方々がお誘い合って来て下さり、参加人数が大幅に増えました。

令和8年度　役員名簿

顧　　問	小峰　喜八	高	8回生
同	遠藤　誠幸	高	9回生
同	菅原　秀元	高	7回生
同	菊地　拓朗	高	17回生
同	坂入　茂	同	
相談役	佐々木英夫	高	9回生
同	熊谷　洋興	高	12回生
同	桐木　隆夫	高	18回生
同	佐々木幸雄	同	
会　　長	森田　次男	高	23回生
副会長	寺島　邦義	高	20回生
同	畑岡　博信	同	
同	鎌田　麗	高	25回生
事務局長	亀川　善悦	高	29回生
会　　計	菊地　英樹	高	36回生
監　　事	蓬田　収	高	11回生
同	平井　紀光	高	12回生
常任幹事	秋山恵美子	高	33回生
幹　　事	舩坂　朗子	高	20回生
同	井口千代子	高	21回生
同	水島あつ子	高	20回生

新役員紹介



★菊地　英樹さん（会計）
高36回生



★水島あつ子さん（幹事）
高20回生

役員会の主な活動

3/15	第1回役員会（本年度方針の確認と決定）
4/ 5	小さな旅（7年度、柴又帝釈天、8年度、皇居東御苑）
5/31	第2回役員会（「総会・懇親会」「緑風」方針検討）
7/12	第3回役員会（「総会・懇親会」送付物の決定）
7/15	「緑風30号」発刊
9/20	第4回役員会（「総会・懇親会」案内、会員あて発送）
10/18	第5回役員会（「総会・懇親会」準備と担当者決定）
11/ 2	令和7年度「総会・懇親会」開催（上野　東天紅）
12/ 6	第6回役員会（本年度の反省と来年度の方針検討）

※令和7年11月2日、在京佐高会の総会・懇親会時、役員の記念写真です。



【令和7年、会計報告・監査報告】

令和7年度収支報告書
令和7年1月1日～
令和7年12月31日（単位:円）
会計担当:
坂入　茂（高17回生）
令和7年度監査報告書
左記「収支報告書」に関して
厳正に監査した結果、適正
なる処理による報告書である
と確認いたしましたので、茲に
ご報告いたします。
監事：佐藤榮記（高15回生）
監事：菅原洋子（高20回生）

収入の部	
科目	金額
前年度繰越	311,216
年会費収入	405,645
総会費収入	652,000
有志寄付金収入	0
受け取り利子収入	323
合計	1,369,184
支出の部	
科目	金額
事務局費用	289,179
会報費用	43,500
総会費用	625,473
支出部合計	958,152
翌年へ繰越	411,032
合計	1,369,184

【令和8年、在京佐高会総会・懇親会】

期日　令和8年10月18日（日）11時～

会場　上野「東天紅」で開催します。

※お知り合いの会員の方と誘い合ってご参加を役員一同をお待ちしております。

【「在京佐高会」新メンバー大募集！】

私達「在京佐高会」は、関東近郊に居住する佐沼高校卒業生の同窓会です。これから未来を担う若い世代の皆さんを始め、多彩な年代の皆様を心より歓迎致します。いつでも事務局にご連絡下さい。

お互いに交流を楽しんで参りましょう！

■在京佐高会連絡先（事務局）

埼玉県越谷市蒲生3-3-50-807

事務局長　亀川　善悦

携帯電話　090（2442）6184

【ゴルフ倶楽部活動のご紹介】

「イージークラブ」は今年も
元気にラウンド続行中です！



ゴルフ倶楽部世話役
相談役
桐木　隆夫さん
（18回生）

ゴルフ倶楽部「イージー会」

在京佐高会ゴルフ同好会「イージー会（名称は、気楽・手軽・呑気・悠々の意味です）は、今年も年間9回、元気にコースに出ています。最年長94歳の大先輩2名を筆頭に、80代70代60代と年代は高くとも、皆さん長年のキャリアが物語るように、今なお矍鑠としてプレーを楽しんでいます。「イージー会」は幅広く参加者を募集しています。「ゴルフの楽しみ」をお求めの方は、ご遠慮なくご参加ください。多くの方の参加をお待ちしています。お申込み・連絡は左記迄お願いします。

世話役　桐木隆夫
連絡先090-9801-0396





菅原譲様（3回生）、桐木隆夫様（18回生）



2026年5月26日（火）千葉県印西市にある「泉カントリー倶楽部」でのコンペです。



写真右は一昨年の高田馬場で開催したイージー倶楽部の「暑気払い」写真です。



㊤は小田原市三の丸ホールでの演奏のようすです。
㊦の二枚の写真は曲目が変わっての演奏風景です

【クラブ30周年記念ハンドベルコンサート】

心ひとつにして音を重ね、曲を奏でる。
ハンドベルの一番の魅力です。



常任幹事
秋山　恵美子さん
（33回生）

45年前に佐沼高校を卒業して上京、縁あって小田原に嫁いで、来年で25年になります。初めは知っている人が一人もいない生活でしたが、2年後に子どもが生まれると世界がどんどん広がり、17年前には「ハンドベルとの出会い」がありました。

子どものためにと参加した講座の最終日に、ハンドベルのミニコンサートが開かれました。私は初めてベルの生演奏を聞き、その澄んだ音色そして様々な演奏方法を知ってすっかり魅了されてしまいました。10人足らずの演奏者の前に大小様々な大きさのベルが何十個、ひょっとしたら百個はあったかも知れません。一人一人の手は二本しかないのに、左右に持ち替えながら素晴らしいハーモニーが奏でられ、大変感動しました。コンサートが終わった直後、思わず代表者に「私を仲間に入れてください」と直訴していました。「ハンドベルは振れば音の出る楽器ですが、綺麗な音を出すのは大変です。先ずは初心者講座があるので、勉強して下さい。」と仰っていただき、私の「ベル人生」が始まりました。初心者講座は月2回、それを3年続けてようやく今のクラブに参加。毎週1回の練習を経て2～3年に一度コンサートを開きます。今年クラブ創立30周年を迎えたので、6月27日に記念コンサートを小田原市「三の丸ホール・大ホール」で開催いたしました。ハンドベルの一番の魅力は、一人では演奏できないところでしょうか。グループ全員の心を一つにして音を重ね、曲を奏でる。演奏人数が多いと合わせるのは大変ですが、その分、音に厚みが出て素晴らしいハーモニーが生まれます。精一杯演奏して沢山の拍手をいただいた時、無事に一曲を終えた安堵感と満足感に包まれます。仲間と感動を分け合う事がコンサートの醍醐味です。





今年6月27日開催のコンサートはダブル台風直撃でしたが、多くのお客様においでいただき、盛大な拍手で素晴らしいコンサートになりました

【令和8年、第23回小さな旅報告】
桜咲く「皇居、東御苑」散策



小さな旅担当
在京佐高会、副会長
寺島　邦義さん
（20回生）

第23回小さな旅は令和8年4月4日（土）桜咲く「皇居東御苑」を訪れました。生憎の天候となり小雨降る散策でしたが、男性12名・女性13名の合計25名と多くの方に参加していただきました。

「皇居、東御苑」のある江戸城（別名、千代田城）は徳川将軍が15代続いた居城ですが、明暦三年の大火で焼失してしまい、以降、天守閣は再建されることはありませんでした。今回、「小さな旅」では大手門から傘をさして城内に入り、坂道を登って目的の「天守台跡」、現在の「本丸展望台」へと向かいました。外様大名達に築かせた見事な石垣に圧倒されながら、急な坂道を登って頂上へと歩みを進めました。天守台への坂道には頑丈な「手摺柵」が設けられており、杖を頼りの方や高齢の私達も手摺を頼りにゆっくりと展望台に上ることができました。展望台から360度見渡すと遠くにはビルが立ち並び、江戸城本丸の跡地には青々と芝生が綺麗に手入れされ、周辺に植えられた松の木の緑と満開の桜のコントラストがとても美しい風景でした。

「手摺柵」の改修工事には遠藤誠幸顧問が携っておられ、平成14年の宮内庁入札の折に念願叶って工事を請け負われたそうです。その後も宮内庁からの厚い信頼を得て、今も皇居の工事を託されておられるとのことでした。今回小さな旅で使用した記念撮影用「横断幕」と先導の「緑の小旗」は遠藤顧問より寄贈していただいたものでした。私達は遠藤顧問に先導していただき、かの有名な「刃傷松の廊下跡」や「大奥跡地」を始め、松の木や枝垂れ桜などの新緑美しい広大な苑内を感激しながら散策いたしました。また江戸城の模型や記念ブースを見学、休憩所では記念の品を土産に買って江戸城を後にしました。

この後、地下鉄日本橋駅に予約した懇親会場「麹蔵」に移動しました。乾杯後は二時間近く散策した疲れも癒えて、一人一人が自己紹介や近況などを発表し合い、お酒も入ってテーブル毎にお話に盛りあがりました。和やかな雰囲気の中、「シルバー川柳」（20回卒、喜寿祝い会で配布された）の内容が自分達にもピッタリ当てはまると好評で、皆さんから笑いを誘うツールとなりました。そして最後は一本締めで別れを惜しみながら散会いたしました。

※次回の24回「小さな旅」は、両国の「江戸博物館」が候補になっています












第23回小さな旅記念写真
—桜咲く「皇居、東御苑散策」—








【舩坂朗子の世界の旅】

「今、スペインが熱い！」

―3回連載シリーズ、第2回―



在京佐高会、幹事
舩坂　朗子さん
（20回生）

2026年「サッカーW杯」は日本では「無敵艦隊」と呼ばれているスペインが優勝した。

私の「ツアー・コンダクター」生活45年間の旅日誌から、今年は第2回目として、「今、スペインが熱い」を紹介する。

カナリア諸島テルデの「ヒロシマ、ナガサキ広場」

「大西洋のハワイ」と言われるスペインのカナリア諸島にあるテルデ市には「ヒロシマ、ナガサキ広場」がある。かつて、気仙沼港のマグロ漁はカナリア諸島で行っていた。多くの日本人が往来していたため、島の住民は日本に親しみを覚えていたが、近年は日本近海でもマグロが獲れるようになり、今は漁船点検のドッグ利用だけになった。

スペインは1982年NATOに加盟した。NATO加盟国が有事に巻き込まれれば、スペインも条約国として戦争に加担しなければならない。1996年テルデ市は議会で非核都市を採択。戦争放棄を宣言。同時に「ヒロシマ、ナガサキ広場」の建設が決議されて話題を呼んだ。市長のウイレリアーノ・サンチャゴ氏が日本の憲法9条「戦争放棄」に感激、市議会の賛同を得て建設されたのだ。広場には、日本語をスペイン語に翻訳された「憲法9条の碑」（左㊦の写真）が掲げられている。





（左㊦の写真は碑の前にしての記念写真）

「サグラダ・ファミリア教会」

バルセロナ天才建築家アントニオ・ガウディが手がけ、“未完の傑作”として知られてきた「聖家族教会」の中央タワー「イエスの塔」がついに完成した。（右下写真）「サグラダ・ファミリア教会」のメインタワーだ。140年以上にわたって建築が続けられてきて172・5mの世界一高い教会となった。巨大な外観も素晴らしいが、内部の装飾も彼独特の感性が生かされて樹木の形をした柱が並び、まるで森の中に迷い込んだような錯覚を覚える。6月10日にはローマ教皇も訪れ完成を祝うミサが行われた。



「アントニオ・ガウディ」

彼は19～20世紀にかけて、スペイン・バルセロナを中心に活躍した天才建築家である。自然界の動・植物からインスピレーションを得た、直線を持たない有機的で、独創的なデザインが特徴だ。彼のユニークな7つの建築物は「アントニオ・ガウディの作品群」として世界遺産に登録されている。

「サグラダ・ファミリア」はなぜ、多くの人を惹き付け続けるのか？それは他に追随を許さない彼の独創性にあると思う。彼の作品7棟の世界遺産はどの建物も大変興味深い。―私は、今から50年程前学生旅行に参加した。ヨーロッパを網羅する三週間の旅で、初めてバルセロナの「サグラダ・ファミリア」、『聖家族教会』の存在を知った。ガイドは熱を込めて説明した後、今世紀以内には完成しないだろうと締めくくった。何故なら、設計図はガウディの頭の中にあり、ちゃんとした設計図を残さないまま亡くなってしまったからだ。

ガウディは1926年6月7日、当時出来たばかりの路面電車にひかれて3日後に亡くなった。享年73歳だった。

ガウディは晩年、熱心なカトリック信者となり、その日はミサに向かう途中だった。寝食も忘れるほど全身全霊をサクラダ・ファミリアの建築に捧げていた為、病院に運ばれた際、痩せて身なりの貧しい老人は浮浪者と間違われ、手当てが遅れてしまったのだ。天才建築家は生涯独身だった。

写真はカサミラ（左上）カサバトリョ（左下）グエル公園（3枚目）―グエル伯爵は大実業家で生涯ガウディのパトロンだった。





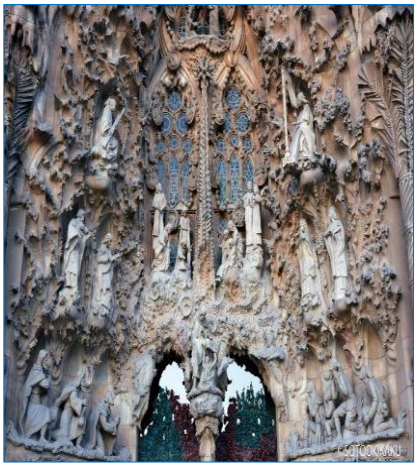


ガウディが亡くなって48年後、石の文化を学びたいと単身ヨーロッパを旅行中だった日本人青年が、旅の途中のバルセロナでたまたま「サクラダ・ファミリア」と出会い、感激して「突撃就職活動」を何度も重ねた。そして、遂に見事な職人技が認められて働きだした。その彼が「外尾悦郎氏」だ。私が初めて外尾さんに会ったのはそれから数年たった頃だと思う。ガイドさんが「日本人で初めて採用された彫刻家ですよ」と、遠くで彫刻している姿の外尾さんを紹介してくれた。参加者達はこの素晴らしい教会で働く日本人に、遠目ながら興味津々だった。その後、何度か見学に行くうちに外尾さんに声を掛ける機会があった。2・3の質問をしてみたら、とても穏やかな語り口で「真面目に働いているので何とか首を切られずに続いていますが、一つ一つの作品毎の出来栄えによってはいつ首になるかわからない不安定な職場ですよ」と話しておられた。また「百人以上の作業現場なので人間関係にも配慮が必要だ」との言葉が印象に残った。「生誕の門」の彫刻が次々と出来上がって行くうちに外尾さんは彫刻部門のトップになっていた。





※㊤外尾さんが手がけた「歌う天使たち」（東京国立近代美術館）㊦京都の母校に寄付された石膏像の前で説明の外尾さん。



外尾さんが手がけた「生誕の門」。世界遺産に登録された。



面積、日本の1．3倍
人口、4820万人で日本の⅓程
首都　マドリッド、元首　フェリペ6世

スペインという国の多様性

スペインは実に地方色豊かな国で17の自治州があり、日本の都道府県等とは比較にならない程の高度な自治権を持っている。まるで多様性に富んだ小さな独立国家の集合体のようだと想像して欲しい。スペインに出掛けると言うとフラメンコや、闘牛、パエリア、ピカソも観るのですか？とよく聞かれたものだが、それもあるが歴史が特に面白い。世界中を旅すると日本語が通じたらどんなに良いだろうと思う事が有る。スペインの黄金時代の16世紀には、地球の半分が植民地だった。その名残でスペイン語を公用語とする国が世界に21ケ国もある。例えばメキシコ、アルゼンチン、コロンビア、ベネズエラ、チリ、パナマ、コスタリカ等、紙面の都合で書ききれないが言葉の不安が無いという事は実に羨ましい。

スペインのバルでタパス料理を

私は、食事が付いてない日は皆様をよくタパス料理にご案内する。バーで飲み物を注文し、小皿に盛られたそれぞれの料理は言葉が出来なくとも指さすだけで注文が出来、量も多くないし、お値段も安い。



タパスの定番「トマトのブルスケッタ」「生ハムとオリーブ」「ピンチョス」

「支倉常長」と、「ハポン姓」

スペイン南部アンダルシア地方。「Coria del Río（コリア・デル・リオ）」という小さな田舎町に「Japón（ハポンさん）」達は実在する。その数、なんと600名以上だ。―時は、今から400年前の慶長18年、仙台藩の伊達政宗家臣「支倉常長」が率いる「慶長遣欧使節」がこの地に滞在した。使節団は、1613年にソテロ神父を通訳として、日本を出発、スペインのアンダルシアに到着、首都マドリードへ向かって国王フェリペ3世に拝謁した。その後フランス、イタリアのローマ教皇にも謁見したが、日本では「キリシタン禁止令」が発布され、すぐに帰国できず、その3年後に日本へ帰国することとなるが、一説によると、使節団のうち数名の日本人は帰国せず、スペインに留まったとみられている。その日本人の子孫たちが現在Japón（ハポン）の姓を持つ。詳細な記録が残っていないため、実際のところその多くは謎に包まれたままではあるものの、Japón（ハポン）の姓を持つ人々は、「自分たちはサムライの子孫である」また、「日本人の血が流れている」と考えているそうだ。



「支倉常長の像」（ローマボルゲーゼ美術館、所蔵）

令和7年11月2日(日)、上野「東天紅」「在京佐高会総会、懇親会」のご報告と「令和8年度、総会・懇親会」のお知らせ



「会長挨拶」
坂入　茂会長代行



総会議長
菊地拓朗顧問



総会司会
平井紀光常任幹事



上野東天紅在京佐高会総合受付



会務報告、亀川事務局長



会計報告、坂入茂会計担当



監査報告、佐藤榮記監事

【ご来賓ご挨拶】・【新会長の挨拶】【在京佐高会懇親会】乾杯！再会を喜び合いました



令和8年在京佐高会
次期会長
常任幹事　森田次男



宮城県佐沼高等学校
校長先生
加賀谷　亮　様



宮城県佐沼高等学校
同窓会会長
氏家　良典　様

【ゴルフ会から、高校に寄付されました】





菅原秀元顧問より校長先生へ



懇親会司会
鎌田　麗さん・森田次男さん



開会挨拶
桐木隆夫副会長



ご来賓挨拶
白旗崇敬先生



乾杯の挨拶
小峰喜八顧問











【テーブル毎の写真のご紹介】

今年はテーブル毎に参加された方の笑顔をご覧いただくことにしました。先輩も後輩もテーブルを跨いで和やかなひと時でした。

【趣味・特技披露】



・方言披露
三浦　正義さん



・尺八演奏
佐々木幸男さん



・詩吟披露
蓬田　収　さん

【近況報告、参加の代表ご挨拶】



ご挨拶頂いた皆さんです。上下段とも左から順にお名前ご紹介します。
【上段】倉島達四さん(19回生)小平みつ子さん(15回生)菅野清幸さん
(25回生) 芳賀　博さん(20回生) 遠藤誠幸さん(09回生)
【下段】篠田ちゑさん(21回生) 平井紀光さん(12回生)佐藤崇道さん
(70回生) 梅津まき子さん(20回生) 菅原洋子さん(20回生)

【ご歓談中】―各テーブルは食事・飲み物、趣味・余興・近況報告のパフォーマンスも…！









【卒業期別(回生)の皆様記念写真もご紹介】



【07・08回生の皆様】



【09・10・11回生の皆様】



【12・13・14・15・16回生の皆様】



【17・18・19回生の皆様】



【21・23・24・25・33回生の皆様】



【23・24・25・29・33・70回生の皆様】



【20回生の皆様と氏家会長】

【総会・懇親会を振り返って】 令和7年総会懇親会は晴天に恵まれ、70名近くの皆様に参加いただきました。昨年は「参加型懇親会」を企画して開催しました。得意のパフォーマンスをご披露いただき、テーブルを代表して10名の方に近況報告、初参加の方のご挨拶、またテーブル毎・期別写真撮影等により多くの方にご登場していただきました。令和8年は更に楽しい会を目指して参ります。多くの方の参加をお待ちしております。
※令和8年「総会懇親会」は10月18日(日)上野「東天紅」開催です。

【令和7年度「緑風30号」について】
皆様から頂いた感想をご紹介します

◆「緑風」誌上で、ゴルフイージー倶楽部で同期の菅原・丸森両君が楽しんでいる姿を拝見して小生も元気な折には4回位参加したことを思い出しました。―**比毛　八郎さん（3回生）**

◆お蔭様で息災にて過ごしております。ご盛会を祈念致しております。「緑風」にて丸森、榊原先輩の記事に接し、懐かしく拝見しました。

―**千葉　昭司さん(5回生)**

◆監事の皆様、いろいろとご苦労様です感謝致しております。「緑風30号」については内容が充実しており、読みやすい編集ですべて読ませていただきました。小生を含めて会員には好評と思われます。―**鎌田　敏弘さん（8回生）**

◆「緑風30号」で特に興味深く読ませて頂いたのが「カナダ移民の苦難と成功」で、投稿の根本文子さんはその昔「隠れキリシタン」を匿った佐藤家のご子孫か、はたまた源義経の家来佐藤継信・忠信兄弟のご子孫か?大変興味深いものでした。―**白石　彦五郎さん(8回生)**

◆バンクーバー総領事でいらした片倉邦雄先生、「緑風」編集担当の鎌田様そして多くの皆様方のお力をいただき、「カナダ移民の記念碑」を建立できて、緑風に掲載していただきました。これからも明治から昭和に到る勇気と苦難の歴史を忘れずに語り伝えていきたいと思います。関係者の方のご連絡をお待ちしています。

―**根本(佐藤)　文子さん(9回生)**

◆「緑風」はとてもいい内容でした。次号も楽しみにしています。―**岩崎　清さん(12回生)**

◆「緑風30号」は29号に続き、佐高会の歩みと位置づけが良く解り、「佐沼高校卒業生の誇り」を感じさせる内容で、素晴らしいと思いました。更に会の活動や会員の方々のご活躍も知ることができ、「在京佐高会」への関心が高まり、参加意識が喚起されると思いました。

―**平井　紀光　さん（12回生）**

◆「緑風」懐かしく読ませていただきました。3年間仙北鉄道に乗って通った日々が思い出されます。校門を入って右側にあった図書室の事…。新校舎落成時には姪と一緒に訪ねたいと思います。―**和久(今野)信子さん(12回生)**

◆今回の「緑風」には写真がたくさん載っており、目を楽しませていただきました。と同時に明るい紙面で読んでみようと思わせていただきました。―**及川(佐々木)紺子さん(14回生)**

◆緑風30号はカラフルな写真を多用しており、とても読みやすく楽しい内容で、編集担当の鎌田様、畑岡様の努力と愛情のこもった会報を届けていただき、大変感謝の気持ちでいっぱいです。No.31が楽しみです。

―**山下(佐藤)百合子さん(15回生)**

◆在京佐高会総会懇親会のご案内ありがとうございました。出席は叶いませんが、同封された同窓会報と緑風のお陰で佐高在学中のことが懐かしく思い出されました。

―　**澤野　博　さん（18回生）**

◆今回の「緑風」は中身がぎっしり入っており、読み応えがあり楽しいものでした。ツアーコンダクターの筆者は流石で、スイスの紹介は私も昨年いったので、とてもよく理解できました。

―**小澤(阿部)　洋子さん（19回生）**

◆「同窓会報」も「緑風」も楽しく見させて頂きました。仙台在住の姉が今年の同窓会には180名もの出席があり、大変盛況だったと報告してくれました。様々な分野で活躍されている同窓生のニュースは嬉しいですね。

―**丸山(幸野)多恵子さん(19回生)**

◆会報「緑風」を読んで、会の活動の様子や会員の元気に活躍している様子などが良く理解できました。企画編集が素晴らしく、楽しんで拝読させていただきました。在京佐高会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。　―**鈴木　敬一さん（20回生）**

◆役員の皆様ご苦労様です。私も所属している「山の会」の役員をしており、現地の下宮月一の会議に参加しているので、役員の方のご苦労は想像できます。習い事もたくさんやっており、今回は参加できません。「緑風」はとても読み応えある記事が多かった。

―**成平(佐藤)　正子さん(20回生)**

◆「緑風」30号見ごたえありました。私は、趣味で始めた「ハンドベルのサークル」に入って15年経ちました 2026年6月27日にサークルの「30周年記念コンサート」を行います。

―**秋山(桜井)恵美子さん（33回生）**

◆「緑風」では、先輩・後輩・同級生の方達の活躍ぶりを知ることで元気をもらっています。

―**水島(千葉)あつ子さん(20回生)**

◆「緑風」「同窓会報」にて母校の近況や後輩の活躍記事を読んで勇気づけられています。今後ともなお一層の発展を念じております。

―**酒井　正三郎さん（21回生）**

◆千葉からUターンして早7年、在京ではなくなりましたが、毎年ご案内をいただき御礼申し上げます。同封いただいた「緑風30号」を拝読いたしましたが、紙面や写真が大幅に増えて会員の皆様の元気な姿や活き活きとした人生を歩まれている姿が良く伝わってきました。

―**後藤　洋一さん（24回生）**

◆緑風30号はとても素敵な内容で、レイアウトも素晴らしく感動しました。来年も期待しています。―**舟田(岩淵)和子さん(25回生)**

◆在京佐高会の大先輩方はとてもお元気な方々が大勢いらっしゃってもう、アッパレ!です。「緑風」の写真はとても良かったです。

―**原田(紀野国)芳子さん(29回生)**

【編集後記】―会員の皆様から多くの感想を頂きありがとうございました。原稿作成の皆様にも多大なるご協力を頂き、感謝の言葉もありません。今後も「緑風」を手にした後は、ふと高校時代を思い出して頂けるような企画を考えていきたいと思います。　（編集担当　鎌田・畑岡）